教育方法Ⅰ
Teaching Methods Ⅰ

KODAMA Keiichi
児玉　佳一

科目ナンバリング：UTL-2-311-04

■授業の目的及び到達目標
教育の方法と技術、教育機器及び教材の活用について、法令や学習指導要領の知識、学習理論、具体的な事例に基づく実践等を通して、授業に必要な実践的指導力を身に付けることを目的とする。授業の設計に必要な指導計画、学習理論、授業を構成する要素、指導方法、指導形態等の知識・技術を修得することを到達目標とする。

■授業計画
1 教育方法の意義
授業改善による教育改革を例に、教育方法を学ぶことの意義や重要性を認識させる。
2 学力観
学習指導要領が示す学力の捉え方、学力観の変遷、学力の国際比較等を通して、学力観について解説する。
3 学習指導要領の変遷
学習指導要領の変遷をたどりながら、現行学習指導要領が目指す教育の方向性について解説する。
4 教育方法の変遷
教育方法の発展に影響を及ぼした人物を取り上げ、教育方法の歴史的な変遷を概観し、教育の源流を探る。
5 学習の原理
条件反射説、オペラント条件づけ、試行錯誤説、洞察説、記号学習説など学習の原理について解説する。
6 発達段階と学習
ピアジェの認知発達論を紹介し、子供の発達段階における認知発達と学習指導との関係について解説する。
7 教育課程と指導計画
教育課程の意義、指導計画の在り方、指導計画作成の配慮事項、授業の構成要素等について解説する。
8 多様な指導形態
個別指導、グループ指導、習熟度別少人数指導、ティームティーチングなどの指導形態の特徴と効果について検討する。主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善の在り方について、事例を通して検討する。
9 体験的な学習
「体験的な学習」の効果と体験を通して感性を育てることの意義を解説し、事例を通してその指導方法を検討する。
10 問題解決学習
経験主義の考え方や生涯学習の視点に立ち、「問題解決学習」の意義を解説し、事例を通してその指導方法を検討する。総合的な学習の時間の意義についても取り扱う。
11 学習の見通しと振り返り
「学習の見通しと振り返り」の意義を解説し、授業における体系的な目標づくりについて事例を通して検討する。
12 一斉指導と個別指導
一斉指導の意義と課題について解説し、一斉指導の課題を解決するうえで必要な個人差への対応、受動性の解消について検討する。
13 言語活動と学修のまとめ
「言語活動」の意義を解説し、事例を通してその指導方法を検討する。ＰＩＳＡ型読解力についても触れる。教育方法Ⅰで扱った内容について、学修のまとめとして論述形式の試験を行い、フィードバックとして解説する。

■授業の方法
毎回テーマを定めて、教科書、資料を活用しながら講義及び課題解決学習を行う。講義では、教育課題、教育理論、実態を表すデータ、事例、法令知識を提示しながら進めていく。

■予習・復習
予習として、ブラックボードシステムに示した教材に事前に読み込んでおく(１時間程度)。
復習として、授業で指示した課題を整理し、自分の考えをまとめ提出する(１時間程度)。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）
課題の提出状況から授業への取組を評価する。論述形式の試験を行い、到達度を評価する。試験６０％、学修への取組状況（課題の達成状況等）４０％

■教科書・参考書
参考書：文部科学省『中学校学習指導要領（平成２９年告示）解説総則編』、文部科学省『高等学校学習指導要領（平成３０年告示）解説総則編』を使用する。授業内で作成資料等を配布し、指示する。

■関連する科目
・「教育方法II」（学ぶ順序はIからでもIIからでも可能）。一年生で学修した教職論を振り返りながら、各教育法の学びにつなげる。